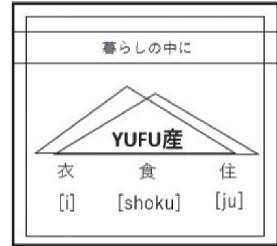


伝えたい 由布のもの NO. 8



〈取材・文〉
岡田鹿乃子
Kanoko
Okanda

地域を見守る由布市災害ボランティアバイク隊

今回の〈伝えたい由布のもの〉は心強い存在の由布のものです。庄内町大龍にお住まいの小野富隆さんが隊長を務める「地域を見守る由布市災害ボランティアバイク隊」を紹介します。

皆さんは、由布市で災害ボランティアバイク隊が結成されているのをご存じでしょうか。バイク隊の主な活動は、災害の際に車では行けない場所や、倒木や落石があるような場所にバイクで分け入っていき、災害現場の把握、情報収集、孤立地域への声かけや物資輸送を行うことなどです。そして、収集した情報を市役所や社会福祉協議会に伝え、自衛隊や消防署への要請につなげているそうです。由布市災害ボランティアバイク隊は、全国でも珍しい県と協定を結んだボランティアバイク隊で、必要に応じて県から要請があれば由布市だけでなく県内外の災害地へ赴くそうです。その他にも、各地域の防災訓練への参加、県内外のバイク隊との合同訓練、援助物資を扱う由布市内の飲料メーカーとも独自に協定を結んでいます。

バイク隊に所属しているメンバーの経験や得意としてしていることはさまざまです。バイクに乗ることが好きなメンバー、傾斜や高低差などが設けられたコースを越えていくバイク競技「トライアル」を行っているメンバー、防災士の資格を持ったメンバーなど。月に1度の訓練では、小野隊長の家の裏山で角度のある傾斜を走り、木や石などの障害物を飛び越えながらバランスの訓練をしているそうです。一見バイクで走れるのかと思うような道なき場所ですが、訓練で鍛えられたバイク隊の皆さんが走る姿を見ると、バイクでしか走ることができないような場所だと思えてきます。裏山での訓練後は、月ごとにエリアを設定し、由布市内外の林道や雪の上、道のない山の中で訓練をされています。

バイク隊の小野隊長が活動において大切にされていることは「仲間を信じること」です。バイク隊の活動は1人では行うことができません。

東京出身。進学・就職を経て2020年8月に由布市の地域おこし協力隊に着任移住定住担当として活動してきます。畑に植えたコットンがすくすくと育ってきました。

● 問い合わせ

総合政策課

☎097-582-1158

災害の際は倒木が道をふさぐため、数人で倒木を切り、別の人は抜け道を探す。知恵を出し合い、それぞれの得意分野を活かしながら目的の地をめざすそうです。チームでコミュニケーションをとり、それぞれの技量や特技などを把握し、心がけられた関係になること。そうしたチームワークを訓練で高め、地域のいざというときに備えています。

令和2年7月豪雨で由布市は大きな被害を受けました。バイク隊も湯平、阿蘇野、高岡、小野屋などをバイクで回り、情報提供や家屋清掃などのボランティア活動を行われたそうです。「車ではいけない場所へ赴き、孤立している方がいれば、「大丈夫かい」と直接声をかけてきました。そういうことが大切だと思います」と小野さんは言います。

現在、由布市内外の23名の隊員で結成されているバイク隊。実際の災害や訓練を通して、バイクだからこぞできる活動があることを改めて実感し、これからもバイク隊の活動を続けていきたいと熱い想いを持って活動をされています。「自分はバイクに乗ることが好きで、バイクが何かの役に立てばと思いバイク隊を結成しました。今後はバイクが好きな若い人にも、もっと参加してもらいたい」と話してくださいました。小野隊長、バイク隊の皆さん、ありがとうございます！



▲月に1度の訓練で集まったバイク隊のみなさん

詳細は地域おこし協力隊ページをご覧ください。



▲由布市地域おこし協力隊